

立川病院 新築整備工事 概要

【 地 区 計 画（案） 】

西国立駅西地区地区計画 ：医療施設地区A・B
（地区整備計画区域）

■地区計画の目標

本地区は、立川市の南東部に位置し、地区の南側及び西側には立川南通り及び立川通りの地区幹線道路、東側には JR 南武線西国立駅があり、北側は住宅地に囲まれ、市の公共施設や病院が立地するとともに、国の施設の移転による跡地が存在している地区である。

立川市都市計画マスタープランにおいては、西国立駅周辺を商業機能や交通機能など地域の中心的役割を担う「地域拠点」として位置づけており、旧庁舎周辺地域におけるまちづくりの基本的な考え方を示した旧庁舎周辺地域グランドデザインに基づき、文化・交流拠点を形成し、にぎわい等の創出を図ることとしている。

このことから、公共公益施設等の計画的な土地利用の誘導を図るとともに、JR 南武線の鉄道立体化にあわせた西国立駅周辺の交通環境整備を行うことにより、生活、文化・交流、医療福祉等の拠点の形成を図る。また、地域や各施設をつなぐ歩行者ネットワークの形成や緑環境の保全により、安全で快適な市街地環境の形成を図る。

■土地利用の方針

国の施設の移転による跡地も含めた一体的な土地利用を図り、地域の医療福祉の拠点となる地区を形成する。特に医療施設地区Aにおいては周辺環境に配慮しながら土地の有効利用を図る。

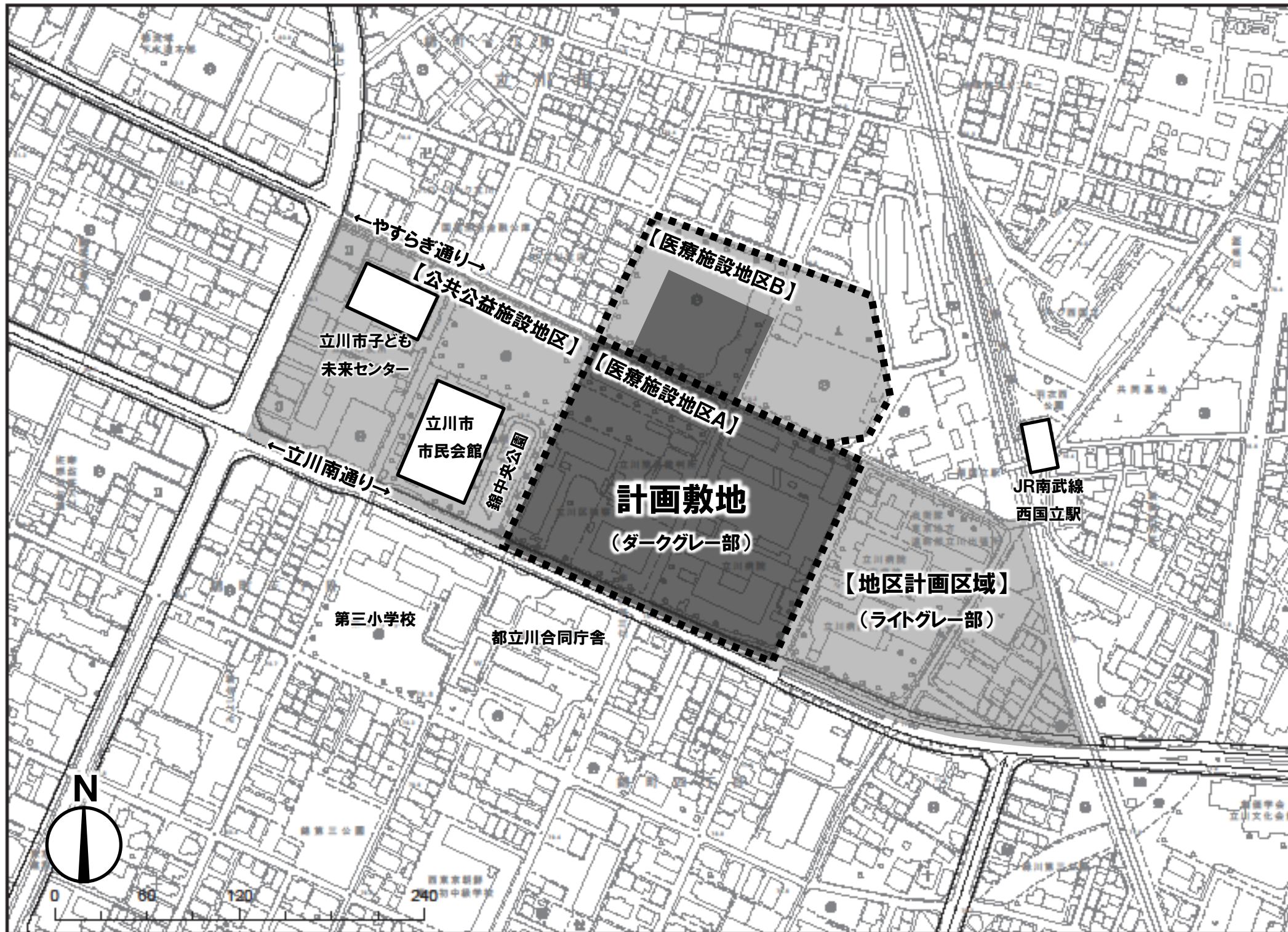
■地区施設の整備の方針（その他の公共空地の整備方針）

錦中央公園に連絡する歩行者ネットワークを形成するため、公共公益施設地区及び医療施設地区Aの境界に錦中央公園と一体性のある貫通通路を配置する。

ゆとりある歩行者空間を創出するため、立川南通りに面する部分に歩道状空地を配置する。

緑豊かなうるおいある歩行者空間を確保するため、医療施設地区Bの道路に面する部分に緑道を配置する。

周辺環境に配慮するとともに、駅から人々を誘う魅力ある街並みを形成するため、緑のネットワークとなる環境緑地を配置する。



計画建物概要

計 画 地：東京都立川市錦町4丁目1番1他
敷地面積：(病 院)25,937.50 m²（駐車場）5,082.58 m²
主要用途：病院
階 数：地上 9 階
高 さ：37.25m
構 造：鉄筋コンクリート造
建築面積：10,408.02 m²
延べ面積：40,077.84 m²

【 都 市 計 画 】

用 途 地 域：第1種住居地域
第2種住居地域

防 火・準 防 火：準防火地域

高 度 地 区：第2種高度地区

建 ペ イ 率：60%

容 積 率：200%

【 景 観 計 画 】

景観計画区域の区分：一般市街地地域

■景観形成の目標

・地域資源を街並みに生かした秩序感のある景観づくり

■景観形成・誘導の方針

・歴史を感じる街並みの形成

・日常の中に緑が映える街並みの形成

・多様な土地利用を生かした街並みの形成